



< 城陽障害児者生活労働センター ‘うおーく’ >

〒610-0121 城陽市寺田垣内後69-1 TEL 0774-55-5583

メールアドレス mnakama@khaki.plala.or.jp

< 下大谷施設 >

〒610-0102 城陽市久世下大谷6-291 TEL 0774-56-0073

『ご挨拶 - 道路工事・施設整備について - 』

平素は、“社会福祉法人みんななかま”の事業運営に関しまして、温かいご支援や力強いご協力をいただき、誠にありがとうございます。この度の城陽市が進めております都市計画道路整備事業の工事着工に伴う当法人の事業について、一言ご案内とご挨拶を申し上げます。

当法人の前身となる“みんな仲間教室”が利用者3名で産声をあげたのは平成3年、寺田東ノ口のアパートの一室のことでした。14年間の無認可での活動を経て、社会福祉法人格を取得できたのが平成17年。現在では、生活介護事業と就労継続支援事業を併せて38名の利用者が通所し、放課後等デイサービスの登録者も30名を超えるまでになりました。その他、日中一時支援事業、移動支援事業、相談支援事業、短期入所事業の合計7事業を運営するまでになりました。地域の方々に支えていただきながら今日まで活動を続けてこられたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、この度、「宇治都市計画道路塚本深谷線整備事業」に、当法人施設“うおーく”も該当し、一部取り壊し(約250㎡)の必要性が生じました。この事業に当法人としても最大限の協力をしようと協議を重ねる中、城陽市土木課のご担当者様、地元自治会長様と地元地域の法人役員の方が、親身になって考えていただいていることが力になっています。そして、垣内後地域の方々のご理解とご支援が何よりも前進へのエネルギーとなっていることに、感謝申し上げます。

旧寺田西保育園園庭に仮施設を建設し、6月からそちらで活動を行うこととなりました。その間に、現存施設の部分切り取り工事及び近隣土地に新施設建設工事を行い、12月をメドに寺田垣内後に戻ってくる予定です。

半年間で2回の引っ越しをし、慣れない環境で取り組みを作っていくことは、利用者・職員にとっても大変ストレスの大きいことではありますが、この事業が無事成功し、城陽市のまちづくりと福祉が益々発展していくことを祈念し、城陽市の道路整備事業に協力していく所存でございます。

地域の方々には、この道路拡幅及び施設整備工事ではご迷惑をおかけすることと存じますが、趣旨をご理解の上どうかこれからも変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

(社会福祉法人みんななかま 理事長 津止 正敏)



みーんなのこのごろの様子



* * ほっぷグループの近況 * *

ほっぷグループの仲間はこの一年、様々な活動を通していろんな力をつけて来ました。

不安でいっぱいのお泊三日の旅行に行っておられたことや、楽しいことを支えに過ごせました。山登りやプール・万博公園などで、たくさん体を動かし気持ちを発散出来、おたべ本館やSA巡りでいろんな「食」を体験しました。また、通天閣や稲荷山にも登り、大阪・京都の街を一望し「ほら見て。すごいね」など心を動かせました。何より「苦手」と思われていた「遊園地」も、職員・ボランティアと一緒にいろんな乗り物を楽しみながら過ごせました。普段の作業を通した一日も、「給食」「散歩」を楽しみに頑張りました。難しい作業も細かくした工程を職員・ボランティアと一緒に「見る」ことで理解が深まり出来るようになり、給食後の後片付け等も出来るようになりました。このように、今まで見る事が出来なかった「姿(すがた)」をそれぞれが見せてくれた一年でした。4月からは、今までの取り組みの「幅(はば)」を広げて、共にまた一つ「大きく」成長していきたいです。(文責:春名)

* * さくらんど ~2015年度を振り返って~ * *

さくらんどグループは、2015年度もお仕事にお楽しみ活動など大いに取り組んでまいりました。なによりも、皆が大きく体調を崩すことなく元気に出勤できていたことが良かったです。

振り返ってみると、とても大切なものを実感できた年になりました。それは「集団の力」です。

さくらんどグループの仲間の実態はそれぞれで(職員のキャラもそれぞれで笑)、なかなか集団として取り組むのは難しいというのが今まででした。そんな中で2015年度を振り返り、「集団の力」を感じることができたことがあります。一つ目は、担当の職員が他のなかまの支援で離れると、すねてイライラしてしまうNさん。年度当初もこういった場面はよく見られていましたが、次第に担当職員が離れてもイライラすることが減っていきました。二つ目は、散歩やおでかけ先で沢山歩くのが苦手なMさん。今までは、どうしても座り込んでしまうことが多くありました。それが、いろんなおでかけ先で、座り込むことも少なく、今までで一番歩くことができていました。三つ目は、とても緊張が強く、物(机や椅子等)が近かったり人が近づいたりすると緊張してしまうNさん。そんなNさんが、レクリエーションの取り組みの卓球バレーをしたときに、みんなと同じ機の輪に入って、笑顔でとても穏やかに取り組むことができました。この三つのことから感じることは、さくらんどグループが、なかまにとって「安心できる集団」になってきているのかなということです。このグループのなかまや職員がいるから、苦手なものや、しんどいことも、乗り越えようという気持ちになったのではないかと思います。やっぱり「集団の力」は凄いなと実感ができました。ただ、いきなり良くなったのではなく、今までの何年もの積み重ねがあるからこそ、「集団の力」は蓄えられてきたのだと思います。これからも集団での取り組みを大切に、また個別の支援もとても大切なので、その両方を大切に、継続的に取り組み、より良いさくらんどグループになっていけたらと思います。(文責:中野)



* *ami グループのこの1年 いろいろあったけどみんなよくがんばりました！* *

健康の取組、からだの取組

みんな元気に過ごしたい！という願いを大切にしてきました。体調が急に悪くなってやむを得ず入院した仲間や、睡眠がうまく取れず体調を崩した人などいろいろなことがありましたが、みんな元気を取り戻してまた通ってきてくれていることが何よりも嬉しいことでした。

暑いときも寒い時もお仕事、がんばりました

「アルミ缶つぶし」の仕事は、外で行うなかなか大変な仕事ですが、暑くても寒くてもみんなで力を合わせて1年間がんばりました。

「縫製・そうきん縫い」の仕事にたくさんの注文を頂きありがとうございました。ボランティアの皆さんの協力もお願いしながらみんなで力を合わせて縫って、納品しました。

「みんななかま」大好き／“もっとやりたい”思い広げていきたい……

電車で高の原イオンに出かけたり、京都教育大学学校祭に行ったり、初詣散歩で荒見神社まで歩き、帰りに文化パーク城陽のレストラン「星待ちキッチン」でバイキングを楽しむなどのお出かけをしました。

「星待ちキッチン」から帰る時、大きな声が出た仲間に「また来ような」と声をかけると、にっこりと微笑んでくれました。「また来たい」という思いをどうしても伝えたかったのでしょう。“またこんなことしたい”“これはちょっと苦手だなあ”などの一人ひとりの思いを大切に“もっとやりたい”思いを広げていきたいと思います。

(文責：家田)



* * フレンドグループの近況 * *

12月21日にフレンドA・Bグループでは年末恒例の仲間の自治会「みんなの会」主催のクリスマス会がありました。

フレンドでは、クリスマス会でやりたい事を仲間と一緒に考えて作っています。

前年は、カラオケでしたが、もっと楽しもうとビンゴゲームもすることになりました。

ビンゴのカードは、自分で思い思いに1～25の数字を書いた手作りカードです。

クリスマス会当日は、司会も仲間がつとめます。

では、いよいよクリスマス会の始まりです。ジュースで乾杯の後は、お待ちかねのビンゴゲームです。もちろん景品も出ます！1番にビンゴの人からお菓子を1つ選ばます。みんな1番にビンゴになろうと「何番がほしい？」とか「リーチ！リーチ！」と盛り上がり、次々にビンゴになってお菓子をゲットして行く仲間もいて、大好きなお菓子が先になくならないかドキドキな仲間もいました。

ゲットしたお菓子は、その場で早速食べる人、家に大事に持って帰る仲間とそれぞれでした。

カラオケでは、ゲゲゲの鬼太郎のコスチュームで歌う仲間の登場で旅行の思い出も、よみがえって来ました。楽しい時間もあっという間に過ぎ、終わりの時間が来てしまいました。これからも楽しい思い出をいっぱい作っていききたいと思います。

(文責：南本)



1/30(土) **第9回みんななかま後援会まつり** 大盛況でした

◇初めての文化パルク城陽での後援会まつり◇

今年の「みんななかま後援会まつり」は、初めて文化パルク城陽市民プラザで開催しました。25年にわたって続けられてきた「みんななかま大バザー」が昨年で終了し、これまでのお礼の意味も込めて、皆さんで楽しんでもらえる「後援会まつり」を企画しました。

◇たくさんのご協力・ご入場ありがとうございました◇

市民プラザの中央に設けたステージでは、「みんななかま成人サークル」のメンバー9人の歌声と、ボーカリスト佐藤さんの透き通ったすてきな歌声が響き、たくさんの方が足を止めて聞いてくださいました。

格安の商品の並んだフリーマーケットや、カレーライス、綿菓子、ポップコーンなどの模擬店に行列ができ、買い物を楽しんでいただけました。

「みんななかま」の作業でも行っている牛乳パックを再利用して作る紙すきの体験コーナーでは自分オリジナルのハガキを子どもたちが楽しそうに作っていました。

◇「みんななかま」への応援をこれからもよろしく願います◇

たくさんの方の市民の皆さんのお力添えにより「みんななかま」は活動しています。後援会としても今後も市民の皆さんと「みんななかま」とを結び、つないでいく役割を果たしていきたいと考えています。

今後とも「みんななかま」の活動を支え、応援していただけるよう、よろしくお願い致します。



みんななかま後援会 家田・竹嶋

○ ・ ○ ・ ○ ・ THANK YOU ・ ○ ・ ○ ・

～様々なご支援 本当にありがとうございます～ (12/1～2/29)

☆ボランティアにきてくださった方々☆

服部 俊子様 藤本 美代子様 森田 喜代司様 宇恵 礼恵様 松本 麻歩様 山崎 美羽様
松尾 優流様 稲垣 奈那様 大谷 奈々聖様 木村 日菜様 小山 美涼様 砂川 敬之様
木村 裕世様 五田 愛理様 松井 沙那様 北村 桃子様 明石 伶香様 山田 江梨様
水野 寧々様 青木 美咲様 村中 美月様 池田 百香様 内藤きらり様 佃 成美様
河野 啓様 渡邊 美幸様 ポストレディの皆様

以下、五里五里紙ヒコーキくらの皆様

高山 俊夫様 後藤 俊昭様 織田 伸二様 金澤 義昭様 白髪 光男様 鈴木 崇義様
塚原 拓様

☆寄付して下さった方々☆

水野様 有馬様 井出様
滝沢様 三好様 三井様

☆製品をおいて下さっているお店☆

メディアスタジオ・SANA様
NIPPON DINING DIVE様
Rencontre様
八百忠 別館様